

2024年度

ニチイ弓庄保育所 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月10日（金）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月25日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」を保育理念に掲げ、各年齢・個別の保育の計画を立て、様々な活動を行いながら、一人一人の子どもの思いを大切に、安心安全な保育所運営に努めた。
子どもの発達援助	縦割り保育でのクラス配置を工夫しクラス替えを行うなど、発達段階に合わせ異年齢交流ができるよう保育環境設定・遊びの提供に配慮した。子どもの姿を捉え、子ども自身が主体的に活動できるよう計画を行った。
保護者に対する支援	個別懇談会や学級懇談会などを通し、保護者様の思いを受け止め、子どもの成長する姿を共有し信頼関係を築くことができた。それぞれのニーズに応じて関係機関と連携しながら個別に対応するように努めた。
保育を支える組織的基盤	外部研修や内部研修に参加し個別の関わりや年齢に応じた保育を学んだ。3歳以上児クラスではSTEAM教育を取り入れ実践や研修を行った。それぞれの学びを園内で浸透させていきたい。

総評
<ul style="list-style-type: none"> ・個別懇談会、玄関対応、連絡帳、等を通して保護者様の思いを受け止めたり、保育所での保育を知っていただける機会を設け、子どもの育ちや保護者様のサポートができるように努めた。個々に合わせた支援が必要になっているので、状況を把握し一人一人に寄り添った個別の保護者支援を行っていききたい。 ・保育理念を元に保育計画を立て実践してきた。子ども理解に不十分な点もあり、現在の子どもの姿を理解し、どのような援助が必要なのかを職員間で話し合い、環境構成や活動計画を行っていく必要がある。 ・年齢発達に応じた保育やSTEAM教育に取り組んだり、研修に参加した。職員間の共有やより深く学ぶことが不足していたと感じるため、ミーティングや園内研修で研修を深め、日常の保育に活かしていきたい。